

日本ケベック学会 2015 年度総会議事録

2015 年 10 月 3 日 (土) 11:50-12:30

跡見学園女子大学 2401 教室

議長に陶山宣明会員が選出された。

会員総数 103 名 (うち休会者 2 名) 中、出席 25 名・委任 76 名 (返信のなかった欠席者を含む) により、総会は成立した。

【報告事項】

1. 2014 年度活動報告

小松事務局長より、昨年 10 月以降の活動として以下が報告された。

- 2014 年 10 月 11 日：第三期第 10 回理事会 (立教大学)
- 2014 年 10 月 12 日：2014 年度全国大会および総会 (立教大学)
- 2014 年 10 月 25 日：韓国ケベック学会の大会に AJEQ より伊達聖伸会員が参加
- 2014 年 12 月 6 日：第四期第 1 回理事会および研究会 (立教大学)
- 2015 年 3 月 28 日：第四期第 2 回理事会および研究会 (立教大学)
- 2015 年 3 月：2014 年度「小畑ケベック研究奨励賞」受賞者 2 名によるケベックでの調査活動終了
- 2015 年 4 月：会員名簿を更新、PDF で会員に配信
- 2015 年 6 月 8 日～12 日：国際フランコフォニー学会 (CIEF) 第 29 回大会に本会会員 8 名が参加
- 2015 年 7 月 4 日：第四期第 3 回理事会および研究会 (立教大学)
- 2015 年 9 月 15 日：学会誌第 7 号刊行

2. 各部署報告

各部署より以下の報告があった。

渉外：立花渉外委員長より、本年度の「小畑ケベック研究奨励賞」選考結果の発表があった。

受賞者 2 名とその研究題目は以下の通り。

佐々木菜緒会員「ケベックらしさとケベック文学生成の関係について」

伊達聖伸会員「ケベックの間文化主義とライシテ」

学会誌：伊達編集委員長より『ケベック研究』第 7 号刊行の報告があった。

第 8 号の投稿締切は 2016 年 1 月 15 日。

広報：宮尾広報委員長より、HP・ブログ・ニュースレターについての報告があった。

次号のニュースレターは夏秋合併号として全国大会特集号を組む予定。

インタビュー・シリーズ『日ケ交流 40 周年記念』および『日本のケベック研究』を日本文化と合わせて再発信する。

3. 入退会報告

小松事務局長より、2014 年 10 月 1 日から 2015 年 9 月 30 日までの入退会者等について以下の報告があった。
入会 7 名、休会 2 名、退会 1 名。現在の会員数は 103 名。

4. 監事交代

小倉会長より、池内監事の辞任に伴い、曾田理事が監事に就任したとの報告があった。

【審議事項】

1. 2014 年度決算・監査

関理事より 2014 年度の決算報告、加藤監事より監査報告が行われ、採決の結果承認された。

2. 2015 年度概算予算案

関理事より 2015 年度の予算案が示され、採決の結果承認された。

3. 2015～16 年度事業活動計画

小松事務局長より以下の活動計画が提案され、採決の結果承認された。

- 年次大会（2016 年 10 月）
- 学会誌第 8 号発行
- 研究会・講演会の主催・共催
- 研究会予定：東京 11 月 28 日（土）午後、大阪 2 月 13 日（土）午後
- 韓国ケベック学会との交流（2015 年 10 月 24 日韓国外国語大学で開かれる大会に丹羽卓会員が参加）
- 国際フランコフォニー学会（2016 年 6 月、セネガルの Saly-Portudal）への参加
- ニュースレターの発行（年 3 回）
- ブログ、メーリングリストを通じた会員への情報発信

4. 第 8 回 AJEQ 全国大会開催校

矢頭企画委員長より、2016 年 10 月 1 日（土）または 8 日（土）に明治大学（駿河台キャンパス）で開催することが提案され、採決の結果承認された。

以上